

テスト実行計画

(1) 全画面を一通り流す。

所要時間:3分

①ログイン画面(6-2)
→ログイン釦

【確認すること】

- ・各画面内の文字などに誤りがないか
- ・画面遷移
- ・入力値が反映されているか

②商品検索画面(6-8)
→GO釦

【入力値について】

- ・文字列の場合は最大文字数を入力
- ・数量の場合は最大値を入力

③商品一覧画面(6-9)
→適当な商品の「詳細」(リンク)を選択

④商品詳細画面(6-10)
→カートに追加釦

※3人で画面に集中!

⑤カート確認画面(6-11)
→商品購入釦

⑥送付先入力画面(6-12)
→注文する釦

⑦注文一覧(6-16)
→「詳細」リンクを選択

⑧注文詳細(6-17)

(2) リンク先を確認

所要時間:2分

各画面にあるリンク先をたどり、正しいリンク先に飛ぶか確認。
※簡単に画面の確認を行う

(3) テスト仕様書を実行する

所要時間:15分

①ログイン画面(6-2) 所要時間:1分

②商品検索画面(6-8) 所要時間:1分

③商品一覧画面(6-9) 所要時間:3分

④商品詳細画面(6-10) 所要時間:2分

⑤カート確認画面(6-11) 所要時間:2分

⑥送付先入力画面(6-12) 所要時間:4分

⑦注文一覧(6-16) 所要時間:1分

⑧注文詳細(6-17) 所要時間:1分

(4) 目玉商品販売時の対応

所要時間:3分

- ・カートに入れた状態で購入しないでもっておき、売り切れを確認してから購入してみる。
- ・「6.9 商品一覧」画面と「6.10 商品詳細」画面をあらかじめプリントスクリーンでとっておき(Excelに貼り付け)、比較を行う。

(5) その他

所要時間:2分

- ・ブラウザを二つ立ち上げて、同じ商品をカートに入れ、一方で削除した時の動作確認など。

(6) セキュリティテスト

- ・SQLインジェクション
- ・セッションID
- ・強制ブラウジング
- ・アクセスコントロール
 - ⇒ パスワードを入力しないでログインできないか
 - ⇒ 削除したユーザidでログインできないか
 - ⇒ お客様が管理者メニューを操作できないか
- ・パラメータの改ざん
 - ⇒ URLアドレスの?以降を改ざんした際、予想外の挙動をしないか
- ・クロスサイトスクリプティング
 - ⇒ 登録データに不正な文字列を登録できないか等

例:6.2 ログイン画面

実行者にわかり易いようにFerret設計書に記載されている画面番号と画面名称を大きく記載。

区切りがわかるように、色分けを行う→印刷時はカラーで！

項番	フィールド1	入力内容	入力値	フィールド2	入力内容	入力値	イベント	期待値	結果	不具合メモ
1	E-mail	未入力		パスワード	未入力		ログイン釦押下	エラーメッセージ出力		
2		未入力			不正な値	fuzisaki	ログイン釦押下	エラーメッセージ出力		
3		不正な値	abcdefg@aaa.co.jp		不正な値	fuzisaki	ログイン釦押下	エラーメッセージ出力		
4		不正な値	abcdefg@aa.co.jp		未入力		ログイン釦押下	エラーメッセージ出力		
5		不正な値	abcdefg@aa.co.jp		正しい値		ログイン釦押下	エラーメッセージ出力		
6		不正な値 (正しい)A	スの「@」がないも		正しい値		ログイン釦押下	エラーメッセージ出力		
7		正しい値			未入力		ログイン釦押下	エラーメッセージ出力		
8		正しい値			不正な値	fuzisaki	ログイン釦押下	エラーメッセージ出力		
9		正しい値(値前後にスペース)		正しい値		ログイン釦押下	ログイン		
10		正しい値			正しい値		ログイン釦押下	ログイン		

入力フィールドの名称を記載。

入力内容を記載。

事前にわかる値は準備しておく。
→セルを選択し「Ctrl+C」でコピーし、「Ctrl+V」でブラウザの該当フィールドへコピー可能。

おそらく釦押下ぐらいしかないと思うが、何かイベントがあれば記載を行う。

簡潔に期待値を記載。

イレギュラーな処理の中に不具合が潜んでいる可能性が高いと考えられる為、項目を列挙する時は、異常系(エラー系)の項目を先に記載する事！

1画面に入力フィールドが複数ある場合は、フィールド1・フィールド2・・・と追加していく。
1つのフィールドには必ず1つの入力値がある。